

内部評価シートの見方

① 施策評価シート

施策評価シート

所管部

福祉部

個別施策の推進によりめざす将来のまちの姿や状態	基本政策	I	個別施策	3	障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備
	めざすまちの姿・状態				
障害の重度化、障害者の高齢化や親亡き後を見据えて、障害者が住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられるまちをめざします。さらに、障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが生涯にわたって社会参加ができるように、区民が互いに支援し合う関係づくりをめざします。					

分析・評価

分析の視点(役割(妥当性)・効率性・有効性・成果)による評価	役割(妥当性)	① 各主体はそれぞれの役割に基づき取り組んでいるか。	十分に取り組んでいる		
	効率性	② 効率的に各事業を実施しているか。	おおむね効率的		
上記の分析の視点を踏まえた総合的な評価	有効性	③ 区民ニーズや地域課題に的確に対応しているか。	おおむね対応している		
	成果	④ 目的(めざすまちの姿・状態)の実現に向けて成果を上げているか。	おおむね成果を上げている		
3年度の取組状況	総合評価				
	<p>障害者の地域生活を支えるための施策については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新たな日常」を基軸に事業を推進することが大切です。障害者への支援が継続されるよう、感染防止対策を講じるほか、在宅支援を取り入れるなど、柔軟な対応をとってきました。</p> <p>障害者グループホームの整備については、障害のある方が、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるよう、障害者グループホームの整備を進めています。また、区立高齢者いこいの家「清風園」の整備を進めています。</p> <p>障害者の生活を支えるための施策は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新たな日常」を基軸に引き続き推進する必要があります。障害を理由とする差別の解消の推進は、より多くの区民や事業者が障害について理解を深める必要があります。そのためには、理解促進にかかる事業を定期的に実施することが重要です。</p> <p>区内障害者グループホーム16所の大半が定員を満たしている状況で、保護者の高齢化が進む中、今後も地域の居住先であるグループホームの設置が求められています。しかし、民有地をはじめ、用地の確保が困難となっています。「新宿区第6期障害福祉計画」において、令和5年度までの一般企業への就労移行に関する成果目標を掲げており、令和2年3月に引き上げられた障害者の法定雇用率の影響を踏まえた上で、今後の就労状況を注視していく必要があります。</p> <p>障害者の生活を地域全体で支える仕組みとサービス提供体制を検討し、障害者がいつでも相談でき、地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。「新宿区手話言語への理解の促進及び障害者の意思疎通のための多様な手段の利用の促進に関する条例」に基づき、手話をはじめ障害特性に応じた様々な意思疎通の必要性について普及啓発するとともに、手話通訳者等派遣や、区職員向けの研修及び障害者を支援する物品の活用によるコミュニケーション支援等の充実に引き続き取り組みます。また、身体的距離の確保やマスク着用、消毒等による衛生管理を講じた会場運営等、新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で「障害者福祉施設共同バザール」・「障害者作品展」を開催するとともに、街頭ビジョン等での障害理解のための映像放映等により、障害の理解啓発を推進します。</p> <p>障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、引き続きグループホームの設置促進を図ります。また、グループホームに適した区有地や国、都有地があるときは、グループホームの建設について検討をしていきます。また、区内国土地や、清風園跡地での整備計画についても、円滑に整備が進むよう取り組んでいきます。</p> <p>障害者就労支援の充実を図るため、引き続き新宿区勤労者・仕事支援センターや各事業所を含めて連携し、ICTを活用するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた支援にも対応できるよう、サービスの量的・質的確保に努めます。</p> <p>以上のことから、本施策における各事業を通じて、障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備が促進されていることから、おおむね順調に進んでいると評価します。</p>				
取組状況		<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている			

今後の取組の方向性

これまでの取組を踏まえた今後の課題	課題・ニーズ等	<p>障害者の地域生活を支えるための施策は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新たな日常」を基軸に引き続き推進する必要があります。</p> <p>障害を理由とする差別の解消の推進は、より多くの区民や事業者が障害について理解を深める必要があります。そのためには、理解促進にかかる事業を定期的に実施することが重要です。</p> <p>区内障害者グループホーム16所の大半が定員を満たしている状況で、保護者の高齢化が進む中、今後も地域の居住先であるグループホームの設置が求められています。しかし、民有地をはじめ、用地の確保が困難となっています。「新宿区第6期障害福祉計画」において、令和5年度までの一般企業への就労移行に関する成果目標を掲げており、令和2年3月に引き上げられた障害者の法定雇用率の影響を踏まえた上で、今後の就労状況を注視していく必要があります。</p>
今後の個別施策の取組の方向性	取組の方向性	<p>障害者の生活を地域全体で支える仕組みとサービス提供体制を検討し、障害者がいつでも相談でき、地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。</p> <p>「新宿区手話言語への理解の促進及び障害者の意思疎通のための多様な手段の利用の促進に関する条例」に基づき、手話をはじめ障害特性に応じた様々な意思疎通の必要性について普及啓発するとともに、手話通訳者等派遣や、区職員向けの研修及び障害者を支援する物品の活用によるコミュニケーション支援等の充実に引き続き取り組みます。また、身体的距離の確保やマスク着用、消毒等による衛生管理を講じた会場運営等、新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で「障害者福祉施設共同バザール」・「障害者作品展」を開催するとともに、街頭ビジョン等での障害理解のための映像放映等により、障害の理解啓発を推進します。</p> <p>障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、引き続きグループホームの設置促進を図ります。また、グループホームに適した区有地や国、都有地があるときは、グループホームの建設について検討をしていきます。また、区内国土地や、清風園跡地での整備計画についても、円滑に整備が進むよう取り組んでいきます。</p> <p>障害者就労支援の充実を図るため、引き続き新宿区勤労者・仕事支援センターや各事業所を含めて連携し、ICTを活用するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた支援にも対応できるよう、サービスの量的・質的確保に努めます。</p>

成果指標(参考)

指標	指標名	指標の定義	当初値		実績		目標水準
			29(2017)年度	3(2021)年度	4(2022)年度	5(2023)年度	
指標1	障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思割合(%)	14.8	16.7			増加
指標2	指標名	指標の定義	当初値		実績		目標水準
			29(2017)年度	3(2021)年度	4(2022)年度	5(2023)年度	
指標2	障害者差別解消法認知度	障害者差別解消法の施行を知っている割合(%)	44.7	45.3			増加

総合計画における成果指標の当初値、実績、目標水準

②計画事業評価シート

計画事業評価シート

所管部	福祉部	所管課	障害者福祉課
-----	-----	-----	--------

基本政策	I	個別施策	3	関係法令等	障害者総合支援法、新宿区障害者整備事業補助金交付要綱、新宿区障害者計画・第5期新宿区障害福祉計画
計画事業	7	—	障害者グループホームの設置促進		
事業概要					
障害者の地域での生活を支援するため、民設民営方式によるグループホームの整備に対して補助を行い、設置促進を図ります。					

令和3年度の取組方針

令和3年度の取組・評価

取組方針 (当初予定)	障害者の地域での生活を支援するため、民設民営方式によるグループホームの整備に対して施設整備費等の補助を行い、設置促進を図ります。																					
新型コロナウイルス感染症による事業内容の変更の有無	有																					
令和3年度の事業実績	(1)公有地 ①払方町国有地 令和4年1月に事業者公募及び事業 ②清風園跡地(中落合一丁目区有地) 施設が区民のニーズを満たすよう公募条件を整理し、 (2)民有地 整備計画を予定している社会福祉法人等に対し、不 民間による障害者グループホーム整備計画の支援を実施(9法人)																					
実績	選択肢: ・有 ・無 オンラインで実施 事業者から意見聴取(2法人) (中止、延期、内容変更等)の有無 開設相談への助言を通じて、																					
事業成果を図る指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>指標の定義(単位)</th> <th>R3(2021)年度</th> <th>R4(2022)年度</th> <th>R5(2023)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1 民設民営方式によるグループホームの設置促進</td> <td rowspan="3">民設民営方式によるグループホームの設置促進</td> <td>目標値</td> <td>設置促進</td> <td>設置促進</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>設置促進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>— %</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	指標の定義(単位)	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	1 民設民営方式によるグループホームの設置促進	民設民営方式によるグループホームの設置促進	目標値	設置促進	設置促進	実績値	設置促進		達成度	— %	%	%
指標名	指標の定義(単位)	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度																		
1 民設民営方式によるグループホームの設置促進	民設民営方式によるグループホームの設置促進	目標値	設置促進	設置促進																		
		実績値	設置促進																			
		達成度	— %	%	%																	
前年度の評価	分析の視点(妥当性・効率性・有効性・成果)による評価及び令和3年度の評価結果 妥当性(執行体制、事業手法の適切性) 適切 有効性(区民ニーズ、地域課題への対応) 適切 効率性(費用対効果の適切性) 適切 成果(目的達成に向けた成果) 上げている 評価結果 計画どおり 障害のある方が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、実績豊かな社会福祉法人等によりグループホーム等の設置を図っていくことは、事業手法としても、効率性からも適切です。 新宿区障害者計画・障害福祉計画の目標の一つである「住まいの場の充実」との整合性が図られており、ニーズや地域課題にも的確に対応しています。 公有地活用について、払方町国有地における障害者グループホーム等施設の整備計画については、整備事業者の 選択肢: ・計画以上 ・計画どおり ・計画以下 者の専門性を最大限に活かせるよう公募条件を整理しています。 民有地については、社会福祉法人等が行う整備計画の具体化に向けた支援として物件を所有する方の紹介を1件行ったほか、開設相談への助言等の対応を8件行いました。 以上のことから、計画どおりと評価します。																					
上記の分析を踏まえた総合的な評価	選択肢: ・適切 ・改善が必要 選択肢: ・適切 ・改善が必要 選択肢: ・適切 ・改善が必要 選択肢: ・適切 ・改善が必要 選択肢: ・上げている ・上げていない																					

令和2年度実績を踏まえた今後の課題・ニーズ

市場性及び必要性に二つの基準を基にした事業形態

事業形態

分類	<input checked="" type="checkbox"/> 非市場的・必需的サービス <input type="checkbox"/> 市場的・必需的サービス <input type="checkbox"/> 市場的・選択的サービス <input type="checkbox"/> 非市場的・選択的サービス
----	--

事業経費

事業分析		R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	2021~2023年度	備考
	予算現額	5,288 千円	千円	千円	5,288 千円	第二次実行計画期間における当該事業に要する経費
	事業経費	3,418 千円	千円	千円	3,418 千円	
	一般財源	3,418 千円	千円	千円	3,418 千円	
	特定財源	0 千円	千円	千円	0 千円	
	執行率	64.6 %	%	%	64.6 %	

③ 経常事業取組状況シート

個別施策 I - 3 障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備

事業の目的、 実施内容	事業名		100	障害者計画等の推進	所管部	福祉部
					所管課	障害者福祉課
3年度の事業の取組内容、実績、事業手法、事業経費	事業概要		障害福祉サービスに関する機関等が連携を図り、また地域における障害者等への支援体制に関する課題検討などを行う障害者自立支援協議会を運営します。また、新宿区障害者計画等の策定を行います。			
	3年度	取組内容・実績	(1) 障害者自立支援協議会の運営 関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制整備について協議を実施 第1回協議会 令和3年6月19日（書面開催） 第2回協議会 令和3年10月28日 第3回協議会 令和4年3月19日			
			(2) 障害者計画・障害福祉計画等の策定 障害者計画に新宿区成年後見制度利用促進基本計画を包含する等必要な見直しを行うとともに、令和4年度からの3年間で計画期間とする第2期障害児福祉計画・第6期障害福祉計画を策定 令和4年3月計画書発行			
			予算現額	9,312	千円	取組状況
事業経費	8,725	千円				
執行率	93.7	%				

事業の取組状況